

教科	音楽	学年	第6学年
----	----	----	------

単元名	単元のまとまりの評価規準		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
〔巻頭教材〕 校歌・君が代	曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。	(2) 旋律や音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聴き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫して、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	(3) 歌詞や曲の特徴を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、音楽を愛好する心情を育む。
〔スキルアップ〕 (歌声とリズムのトレーニング)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。	(2) 旋律やリズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聴き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	(3) 歌詞や旋律の特徴を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。
〈にっぽんのうた みんなのうた〉	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。	(2) 旋律やリズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聴き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	(3) 歌詞や旋律の特徴を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。
短調のひびき	(1) 曲想と強弱など音楽の構造との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の歌声や伴奏、全体の響きを聴きながら歌う技能を身に付ける。	(2) 旋律や音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聴き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	(3) 演奏者の思いを感じ取って聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、オーケストラの音楽に親しむ。
演奏のみりよく	(1) 曲想と強弱など音楽の構造との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の歌声や伴奏、全体の響きを聴きながら歌う技能を身に付ける。	(2) 旋律や音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聴き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	(3) 演奏者の思いを感じ取って聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、オーケストラの音楽に親しむ。

〔めざせ 楽器名人〕 たがいのパートをきき合って演奏しよう	(1) 曲想と声部の役割など音楽の構造との関わりや、リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の音や全体の響きを聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付ける。	(2) 旋律やフレーズなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。	(3) 声部の役割や全体の響きを生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、リコーダー・アンサンブルに親しむ。
〈音のスケッチ〉 動機をもとに音楽をつくろう	(1) 動機の変化やフレーズのつなげ方について、それらの生み出すよさや面白さなどに関わらせて理解するとともに、リズムや音の高さを変化させて短いフレーズをつくったり、思いや意図に合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて音楽をつくったりする技能を身に付ける。	(2) フレーズ、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へと構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつ。	(3) 動機をもとにして音楽をつくることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、音楽に対する感性を育む。
〈にっぽんのうた みんなのうた〉	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。	(2) 旋律や強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	(3) 歌詞や曲の特徴を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。
ひびき合いを生かして	(1) 曲想と旋律や音の重なりなど音楽の構造との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部や全体の響きを聴きながら演奏する技能を身に付ける。	(2) 音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。	(3) 旋律の重なりや響きを味わいながら表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、多声音楽に親しむ。
ききどころを見つけて	(1) 曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりについて理解する。	(2) 音色や音楽の縦と横との関係などを聴き取り、そのよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさなどを見いだして聴く。	(3) 楽器同士の関わり合いや、曲想を捉えて聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、バイオリンとピアノのアンサンブルに親しむ。

豊かな表現を求めて	(1) 曲想と声部の役割など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部や全体の響き、伴奏を聴き、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	(2) 旋律や音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかや演奏するかについて思いや意図をもつ。	(3) 声部の役割や、曲の特徴を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、ジャズをもとにした音楽や器楽合奏に親しむ。
〈音のスケッチ〉 じゅんかんコードをもとにアドリブで遊ぼう	(1) 和音と旋律との関わりや、和音や旋律のつなげ方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さなどと関わらせて理解するとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に旋律を変化させて表現する技能を身に付ける。	(2) 和音の響きや旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的な表現を通して音楽づくりの様々な発想を得る。	(3) 和音と旋律との関わりや、繰り返す和音進行をもとに即興的に表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、循環コード(繰り返す和音進行)の音楽に親しむ。
私たちの国の音楽	(1) 曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。	(2) 旋律、音色、反復、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかや演奏するかについて思いや意図をもったり、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴いたりする。	(3) 我が国に伝わる音楽や楽器に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本の音楽に親しむ。
音楽に思いをこめて	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	(2) 旋律や音色などを聴き取り、それらのよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。	(3) 曲想を捉えて表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組み、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。
〈音のスケッチ〉	(1) 音階や、フレーズのつなげ方や重ね方の特徴を、それらの生み出すよさや面白さなどと関わらせて理解するとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能や、音楽の仕組みをもとに音楽をつくる技能を身に付ける。	(2) 音階や音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的な表現を通して音楽づくりの様々な発想を得たり、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったり、曲のよさを見い出して聴いたりする。	(3) 役割や音階の面白さを生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、全音音階や黒鍵だけの五音音階に親しむ。